

「夏」—それは少女が大人になる季節—

フルカラー
45P
+α

さようなら夏の日

奥までぐりぐり
突かれてると…

かた

ツツ

っ！

ゴリッ

つてよ早川



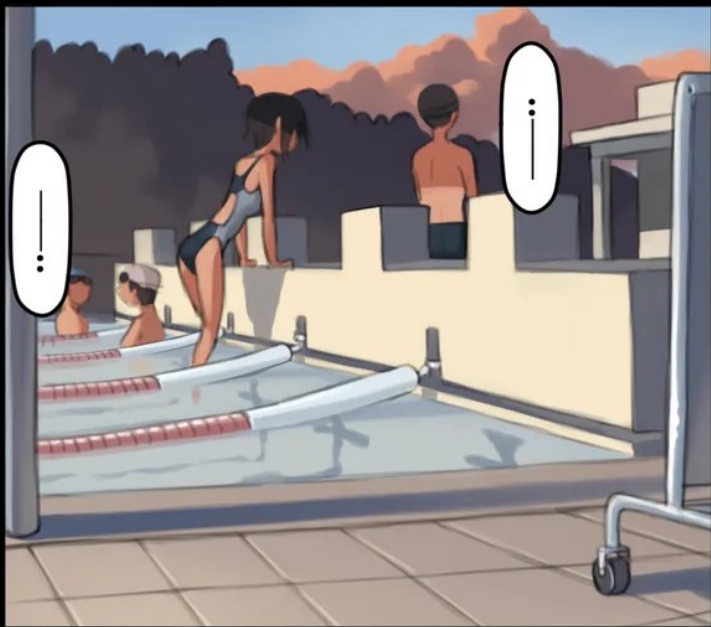
LVI
XXX

さようなら夏の日



早川お疲れ！

おつかれー



！

！



おーい直樹！

今日の練習タイム
また私の勝ちだな

！



部活の同級生の
早川麻衣ー



一体いつになったら
幼馴染みの女子に
勝てるのかなー

うっ：
うるさいな

ー男子のリレーも私が
出場してあげよっか？



どこ見てんだよ？

ちよつとガサツでー
男の子っぽい早川は

スイミングスクール時代
からの自分の親友だ

運動好きで活発な早川とは
練習後よく二人で遊ぶ仲だった



それっ！

ドッ

通っていた学校は違ったけど
自分にとっては悪友のような
存在だった



もうー！
早川蹴るの強すぎ
だよ！

ごめんって
なおき！



なおきあったー？

ない！



なおき！
見つけたぞー



え！？

あつ！
あつた



ほとんど男友達のように
思っていたけど:



別々の学校でそれぞれ
同性の友達が出来ると



次第に早川と会う機会
は減っていく:

おっ:おはよ



数年後同じ学校に通う
ようになって再会した

—明らかに自分とは違う
成長を遂げてふっくらと
丸みを帯びた身体—



少し違和感のある女子の制服:

!?

—え:?

—久しぶり:直樹
私の事:分かる?



再会したかつての悪友は—



見違える程に
「女性」へと変貌していた

：あの日以来—自分は早川に
秘かな恋心を抱き続けている

—早川

お疲れ直樹！

—帰ろっか

隠してきたこの想いを
今更伝えたら：

直樹さ—私にタイム
抜かれるとか格好悪いよ

早川が速い
だけだって

まあ直樹は昔から私には
負けっぱなしだからな—
勉強でも水泳でもさ

勉強は早川も
大差ないだろ？

彼女は：一体どんな
反応をするのだろう

好奇心と—少しの恐怖を
胸に秘めながら：

他愛の無い会話
をする毎日—

—そうして今日も：

じゃあまた明日！

—彼女への想いを
伝えられないまま

気付けば一緒に居られる
最後の夏を迎えていた

いつもの別れ道が近づく：

—でも…今日は…

ごめん早川！

…ちよつと—いいかな？

「早川に…大切な話があるんだ」



—突然…ごめん



…え



…大切にしてくれる？

恋人同士になった

—私の事…

—この日から
自分達は…

まさか直樹が…私の事女の子
として見てくれてたなんて…

—ご…ごめん
びっくりしてさ



—早川…？

—バ…バカっ…

—そういうのは…
もっとちゃんと…その—



—初めて出来た彼女だった

お：お待たせ

…よっ！

早川…!?

その格好…

デ：デートとか…
初めてだから

—どんな服にすれば
いいか分からなくてさ…

友達にも相談したんだけど…
「最初はスカートがいい」って

だから…

その…

変：かな？

今まで見た事の無い早川の
一面に最初は驚いたけど…

—ほらほら
直樹写真！

初めてのデートに高揚する
早川の初々しい反応が

か：観覧車？

な：なんかちよつと
恥ずかしくない？

凄く新鮮で可愛かった

—自分にとっては…
最高の初デートだった

わあー！



早川は…喜んでくれたかな…



—そして

初デートの一日はあっという間に過ぎていき…



—じゃあ

また明日…学校で

…うん



—待って！



—私の…どんな所が

…好きになったの？



直樹ってさ…

…？
ごっ…ごめん直樹
一つだけ教えて！



デートを重ねる度に早川と自分は
恋人としての距離を縮めていった

直樹！

来週月曜日は何の日か
知ってる？

もう：

私の誕生日だよっ

…あっ！

ふふっ

直樹はー

何プレゼントして
くれるのかなー？

えー何だよそれ

え…？
来週…？

ふっ…

早川…

新しい水着…欲しいの？

え？

あ…いや冗談冗談！
悪いよ…そんな…

—いいよ！

…え？

だって来月大会だろ？

…早川？

—…

夏の大会：二人で一緒に
出場する為の水着だ

自分も：早川に早く追い付
けるように頑張るからさー

だから：
それまで早川は

ーその水着で待ってて

！

...

ー私も：いつかは直樹に
追い抜かれちゃうのかな...

ーうん！

「早川の好きなところ...？」

「：女の子らしい
ところ：かな」

水着：大切にするね...

ー女の子に生まれて
良かった：って

直樹と付き合ってから
初めて思えたんだー

ねえ早く帰ろうよ

ちょっと部室に忘れ物
しちゃってさ

：お？

あれ：早川

！
—水着変えたの？

あ：
—武田

よっ！

何？もうこんな
時間から自主練？

あ：うん

そっか：さすが
エースは違うね

—何言ってるんだよ：武田こそ
うちのエースだし部長だし：

お？謙遜するなんて早川
にしては珍しいじゃん

ま：まあ武田が居なければ
きつと私が部長だったけど

—こんな事言ったら変だと
思われるかも知れないけど：

私：男子に負けたく
なくてさ：だから：

俺は：早川の事
応援してるよ

早川が男だったら

俺達良いライバル
同士だったかもな

俺も：

今年は全国大会出場
目指してるからさ

最後の夏はお互い
頑張ろうな

—うん！

次の日…

武田から急に部室に
呼ばれたけど…

—何かあったのかな？

おっ…早川来たか

まあ—そこに座りなよ

ごめんね急に呼び出しちゃって

今日も大会に向けての
「自主練」やるんだよね？

あ…うん…

何の用だろう…？

まあ…回りくどいのは
早川も嫌いだろうから

単刀直入に言うね

実は今日呼んだのは
部活の事じゃなくて

…？

早川に伝えたいことが
あったからなんだけど

—俺と付き合わない？

——え……？

びっくりさせてごめん

：でも俺本気だからさ

付き合う：私と：武田が？

俺：何にでも一生懸命な
早川の姿が好きでさ——

早川の事部活でもそれ以外でも
支えたいなって思ってたんだ

——告白：！？

俺と青春っぽい事
してみない？

女の子なん
だからさ——

——あっ：

私今：直樹と
付き合ってるから

だからっ：武田とは
付き合えない！

きつと早川って今よりもっと
可愛くな

ごっ……ごめん武田！

——え？

わ：

私達——付き合って
るんだ：

黙っててごめん…

…

…分かった

…

よかった…

—なら：
仕方ないな

気持ちは—嬉しいけど：

…ああ
その代わり—

次の大会
お前と直樹は

—出場させないから

…え？

選手決めるのは
部長の俺だからさ

—お前らなんか簡単に
出場停止に出来るんだよ

—…!?

な…何言ってるの…?
—武田?

武田って
そんな奴じゃ…

早川って…胸デカイよね
何カップあるのそれ?

…え…?

男子の間じゃ話題だぜ
早川の「巨乳」:

ギシ..

ズウ...

性格が男っぽいさえ直せば中々
いい女になるよな…って目エ付けて
ただけど…残念だよ

!!

上手い事口説いて揉んでやり
たいって一年の時からずっと
思ってたさ:

—早川が胸揉ませて
くれるんだったら:

—俺も大会の事考え直
してやってもいいよ?

—何言って:

嫌なら別にいいけど

その代わり直樹が大会出られ
なかったらおまえのせいだぞ

...

...

フニヤ



— なっ…直樹には…
絶対内緒だからな…

ギョウ…

分かってるって—
そんな事よりさ…

！

パチ

パチ



ブラもシャツもキツキツ
なんじゃないの？

っ…！

ズ

ルッ



いつも水着越しで見てるの
よりも全然大きいんだな♥

すっげ…



— 何だか悪いね♥

でも早川ってさ…

もみ

本当にアイツの事
好きなんだね

もみ

…

ツク…



— ほらこんなに柔らかい…
早川もやっぱ女の子だな♥

え— あっ…

たぷ

ギョウ

たぷ

うわ俺…今マジで

ちよつ…

早川のおっぱいを
揉んでるんだな…♪

ヤルニ

はあー…いい匂い…

女の子の匂いがする…

フツ…

—もう直樹とどれくらい
セックスしたの？

せつ…
せつくす？

えっ…もしかして
まだなの!?

ってか早川が彼氏作るとか
どうしちゃったんだよ一体…
告ったの？告られたの？

なんでアイツの事
好きになったの？

ゾクッ

ちがっ…

はー…直樹の奴何考え
てんだろうな…？

あっ…

そんなんじゃ
早川が可哀想だよ

ぽろ..



—なにそれ？



だからっ:

—私の事を初めて「女の子」として認めてくれたんだ！



直樹はっ:



—教えてあげよっか？

普段は男っぽいくせに変な所で乙女なんだな:



—見りや分かるさ:..
いかにも経験無さそうだもん

早川って処女でしょ？

え:?



早川の『女の身体』だけなんだよ

!!

男が欲しがってるのはな—

口では上手い事言っても
結局男なんてー

カラダ目当てで集まって来る
奴が大半さ：俺みたいだね

…ちがうっ！
直樹はー

そんな男じゃない：

はあ

はッ

あいつだって一緒さ

あんな奴よりも俺の方が
早川のココ満足させられると
思うんだよね：だからさー

ー俺と：しない？

そんなの：：
ー絶対：嫌：

強情だなあ

そんな事言ったら
大会出さないよ？

最後の大会ー直樹と
出たいんじゃないの？

『最後の夏の思い出』に—
今日一日でいいからさ…

俺の女になってよ

初めてで怖いんなら俺が
優しく教えてあげるからさ

安心してよ早川ちゃん♥

カチャ

カチャ

ズルッ

—じゃないと直樹が
大会に出れなくなっ
ちゃうよ?

いいの?

なに…あれ…

女の子は基本力抜いて
だけでいいからさ…

あっ…このゴム?
準備いいでしょ俺

早川の一
番
女の子の部分をさ♥

っ…

ぬりぬり

あいつより一足先に
味見させてよ♥

—直樹にはさ…

「初体験はまだ」って適当に
言っとけばいいよ

—そんな嘘…

じゃあ決まりー♥

直樹につけるわけ…

ちよ…

あ…

なっ…

まだいいなんて
一言も…あつ！

ああつ

!!

お…入った入った♥

や…めろって—

あつ…

…やめてっ

ズ

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ズ

—いやだ：

は！：

は！：

—うわあ：キツキツだな
早川の中—

こんなのが：
私の初めて：？

…まあ
そんな顔しないでよ

—これからちゃんと
教えてあげるからさ♥

セックスの上手い男
と付き合うと：

うっ：

ズチュッ

ううっ：

オンナは幸せって事を

ズチュ

分かる？

ガッ

ガッ

俺の形がグリグリ中で
動いてるの感じる？

何だ…これ…？

!!

あ…!

お腹の裏側で…こすれてっ…

ズリ
ズリ

熱いのが…じりじり
溜まってくるような…

ソク

あっ

ぐっ…

おっ感じてる？早川

は

ここゴリゴリされるの
気持ちいいでしょ♥

あっ…

ガッ





—武田のコレツ：やばいッ：

はッ：！

あッ：

奥までぐりぐり
突かれてると：

—他の事がッ：何も考え
られなくなってくる：

水泳が速くても
—所詮は女だなあ

結局コイツが気持ち良
くて仕方ないんだろ？

きつ…気持ち良くなんか
—はあっ!…ないもん…

—へえ…そう
じゃあさ早川
キスしようよ

—キスは…
ダメッ:

え?セックスしちゃってるのに
何でキスはダメなの(笑)

だめっ!!
だめっ!!

でも—早川もやつぱり
女の子なんだね♥

エッチの時はこんな
可愛い声出すんだ♥

違うっ:
そんな声っ

違うって:
女の子扱いしてもらうのが
嬉しいんじゃないの?

—早川はさ:

アッ:
あッ:
♥

出して
ないっ:

どんなに
強がっても

ズルルルッ

結局早川は唯の
女の子なんだよ

あッ...

あッ:

ズズズ...

はあッ

あ:

男のコレに:

ズグ...

ズグッ

ぐっ...あ

勝てる訳
無いだろ

ググ

・早川さ…やっぱ俺と
付き合わない？

っ…！

あんな水泳も勉強も
微妙な奴よりも

俺の方が早川に
合ってると思うよ

—まあ…また考えといてよ
俺も…そろそろ出そうだからさ

本当はもうちよつと
楽しみたかったけど早川のが
気持ち良すぎてさ♥

はあっ…

あー…出るっ！

…やめてっ

締め付け
キツ過ぎッ…！



— 次の日

— お待たせ

：昨日はどうしたの？

部活も来なかったけど

…うん…

— た…大会…

来月だね…

え？

ああ…そうだね

興味ある？

…え？

— エ…エッチとか

— なっ…ないよ！
そんなの…

何？…急に

早川ってさ…

— ごめん…ちよっと
変な事聞いていい？



早川？

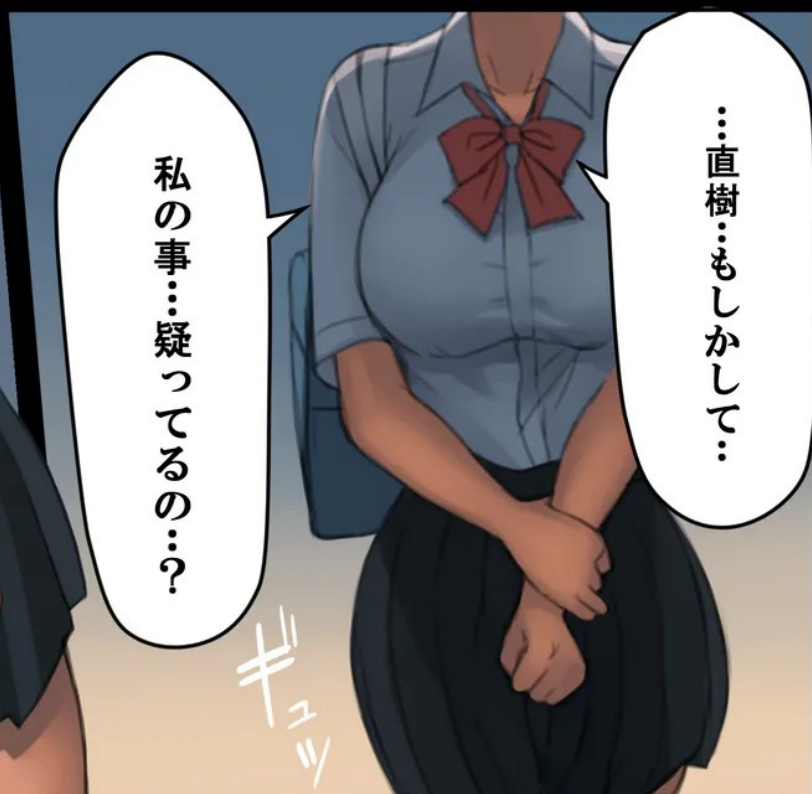
何かあったの？



…早川？

直樹以外と付き合った事
なんて無いし…

——誰とも…セックス
なんてしないよ…



…直樹…もしかして…

私の事…疑ってるの…？



!? 早川…



……

—直樹の為なのに—

……



—ちがうのっ—

—何だろう—

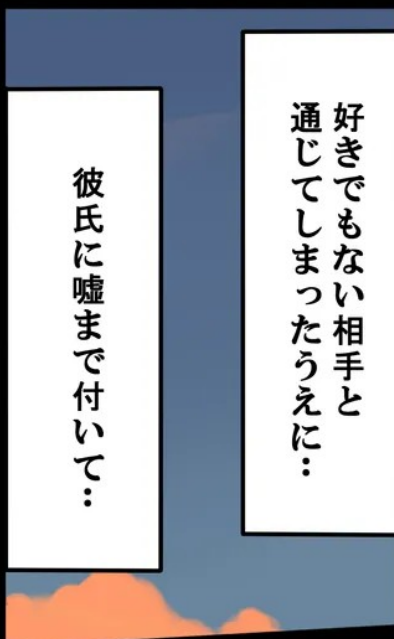
何でも…無いの…

この罪悪感



…直樹の為？

—本当に？—



好きでもない相手と
通じてしまったうえに…

彼氏に嘘まで付いて…



ホロッ..

—こんな女が—



居て…いいのかな…

直樹の隣に—



—二人で大会に出れて…
直樹が喜んでくれるのなら

私はそれだけでいい…でも

—— 似合うなあ
この水着:

...

っ...!

早川: どうしたのこれ?
大会に向けて新調したの?

—— なに: うもう
挿れて欲しいの

そんな事:

はあっ:

どうしようもない
スケベ娘だな早川は

ホラ早川：今日はちゃんと
口で奉仕してみてよ

ズッ...

大好きな彼氏の為だろ？

んっ？

ちゅっ...

んぐ

んぐ♡んぐ♡

ぎゅっ

あっ...凄く良い...

ぢゅっ

...おっ...!

ぢゅっ...

早川ちゃんさーちゃんと俺が
教えた通りに出来てるじゃん

ちゅっ

なぐ

んぶッ...

ぢゅっ

ぢゅっ...

—もう立派な女だね—



じゃー今日も
始めよっか

あ...♡

ふえ...?
まって:ゴム付けてな:

ミミ

ミミ



ふはっ♡

あつもういいよ
そのくらいで

あっ...♡

:本当早川ちゃん
は可愛いなあ♡



は!♡

ズ

ズ

だめっ:

ズ

あっ...!♡

ふあ!?

たまんねーな
この締め付け感♡

ビロ

ほらほら
早川はここ押されると
すぐイッちゃう子だろ？

はっ♡
ズズズズ

あ♡
ズズズズ

—いいんだよ？早川

もう分かってるからさ俺

ギョウ♡

ああ♡

ズルッ

俺の前ではありのまま
女の子の姿で居ればさ

—我慢しろっ…私…

—うっ…あ

奥手な奴だなあ
あいつも…

—まだ直樹とは
エッチしてないの？

「彼女」の体…こんなに気持ち
良いのに—勿体無い…♡

ズ

ルッ

ズズズズ

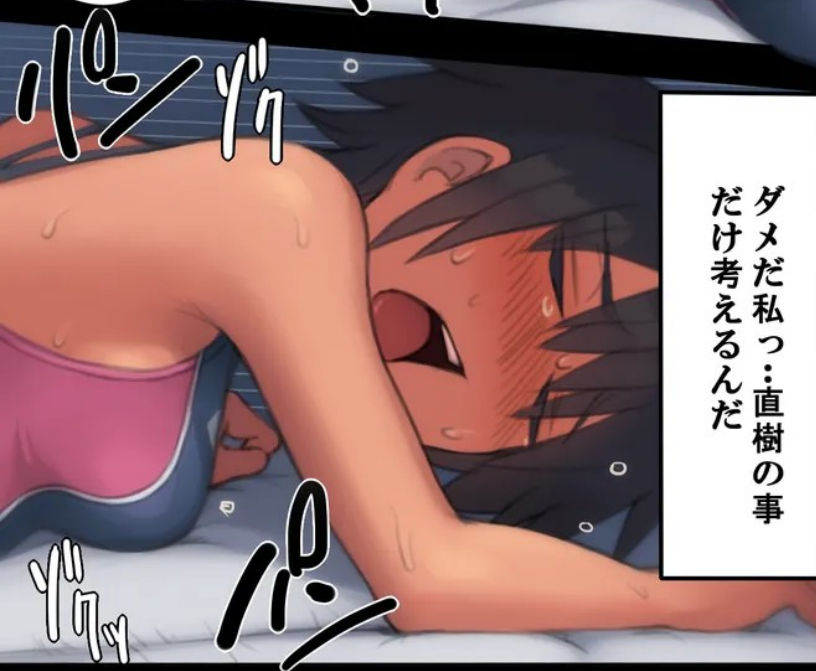
ズズズズ



ソコはッ:
やめてっ:

?!:

—早川:俺と:
付き合おうな



ダメだ私っ:直樹の事
だけ考えるんだ



—これが
「女の子の幸せ」
って奴だよ

分かるだろ早川?



そうすれば毎日こんな
気持ちいいセックス
やり放題だぞ?

嫌ッ:ですっ:♥ つあはあ!



ほらっ!

ほら

あッ♡

あ♡あ♡♡

—男からしたら気持ち良がった「女」が腰振ってるようにしか見えないぞ?



あッ♡

アッ

アッ

ブルッ

はあ♡

—いい加減「気持ちいい」って認めちゃいなよ



あッ

—んっ…!

!

—ホント…どうしようもないエロ女だって

…



アッ

アッ

…もちろん直樹にもそう見えるだろうな

——キス…
キスだけは…



——直樹の為に…
取っておいたのに…

ズツ…

グー…

武田の…長くて太いのが
気持ち良すぎて…



いろんな事が…段々…
どうでも良く思えてきて…

みち

ンク
ンク
ンク

女の子の…幸せ…



——これが…？

ぐっ…

ふあっ…♡
ンク



はあっ！

ンク

ンク

ンク









俺がこんなよりも
もっと良い水着買って
やるからさー

んっ……



「——ごめん早川
…ちよつと——いい?」

「早川に…大切な話
あるんだ」

小さい頃から：



早川はずっと自分の
憧れだったんだ

いつも真っ直ぐで強くて：



真面目ですごく友達想いで

そんな早川にずっと憧れて—
いつの間にか好きになって
いたんだ：

自分は：早川みたいに何でも
出来る人間じゃないけど：

—けど：早川を女の子として
誰よりも大切にしたいから：

—僕と付き合ってください—

LVI
XXX

黒波さんは ト"変態"です 番外編



主人公：黒波さん

水泳部2年生
活発な見た目とは裏腹にHな事
大好きな変態女子水泳部員
ちなみに処女

涼風さん



水泳部1年生
黒波さんの後輩部員
常識的なボクっ娘

舞風さん



水泳部2年生
黒波さんの同級生

村雨さん



水泳部3年生
水泳部副部長

今日は水泳部の
みんなで

わあ！

川遊びに来ました

静かでいい所ですね

わあ川冷たいー！

魚いる？

あんま遠くまで
行くなよー！

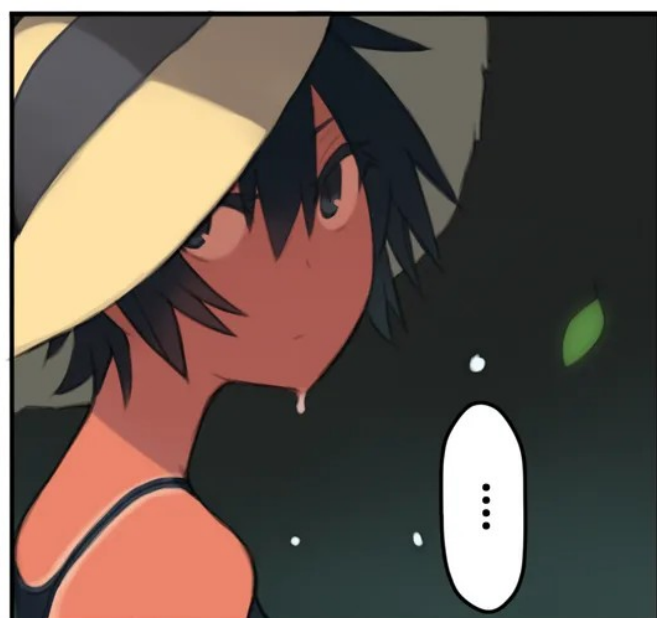
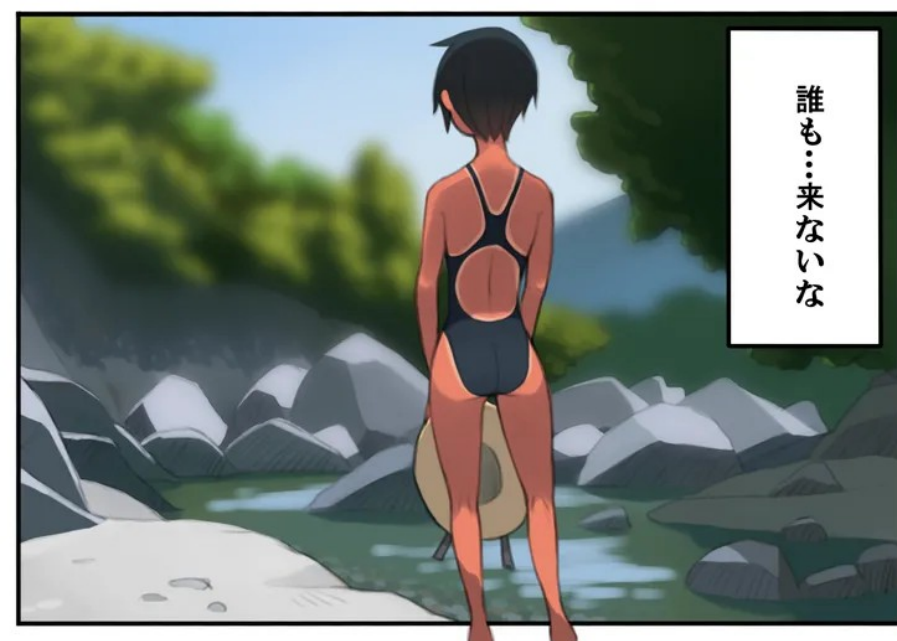
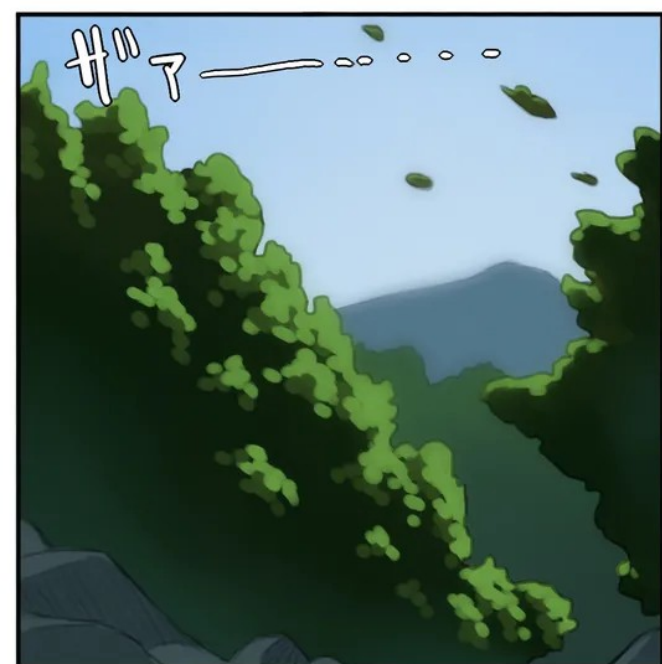
もう少ししたらお昼の
準備始めるからな

涼風！私ちよつと
上流まで行ってみる

あ！はい

気を付けて
下へいね







…!

ペタン



ハッ…

ハッ…

—誰も…来ないなら…



…いい…よね？

んっ…

ム…



—濡れた水着が
体に張り付いて…

ギョッ…

メッ…

ソクソクしてくる…♡



おへそからお尻の
形まで…

キュッと包んで…
しっとり濡れて…



自分の身体
なのに…

すごくエッチに
見えてくる…

あぁっ…もう…

…あっ…

—たまんない！

ぎゅむっ

んっ…

ぐっ

女の…
カラダっ…

エッチ過ぎるよ…

ハキゅ

ハキ…

こんな誰も居ない自然の
中でオナニーするなんて

はぁっ

はぁ…

いつもより…

倍感じる…

ハキゅ
ハキゅ

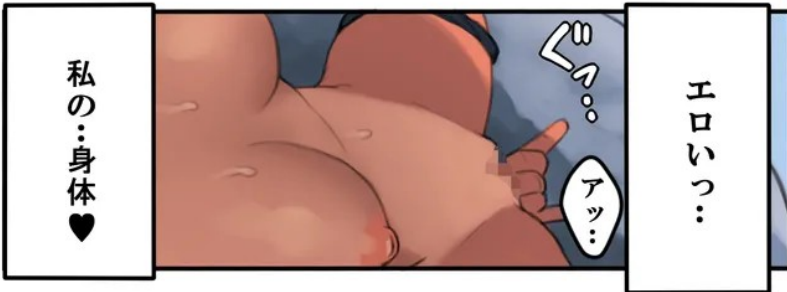


誰も居ないんだしー



…もう…いいよね♡

…うん…



—裸になった方が
もっと興奮するかな…

